



令和 6 年 8 月 吉日

関係各位

一般社団法人大分県助産師会
会長 高橋 典子

令和 6 年度大分県委託事業 産後ケア事業推進研修会のご案内

秋暑の候、皆様におかれましてはますますご繁栄のこととお慶び申し上げます。

さて、産後ケア事業については、産後も安心して子育てができる支援体制の確保を目的とし、身体的・精神的な不安を抱える産後の母親の回復に寄与する重要な事業と位置づけられています。

県内においては、市町村を超えた広域利用の開始から数年が経過しましたが、令和 6 年度からは新たに訪問型支援が開始され、支援提供体制の確保に加え、利用者負担額の減額や対象者の拡大等、県内関係者が一体となり事業の充実を図っているところです。

今般、産後ケア事業に携わる関係者が支援に必要な技術・知識を習得し、他職種連携を推進することで、支援体制のより一層の強化を目的に、大分県から委託を受け、当会が下記の研修会を開催することとなりました。

ご多忙中とは存じますが、お繰り合わせの上、是非ご参加下さいますようお願い申し上げます。

記

- 日 時 令和 6 年 10 月 27 日 (日) 14:00～17:00
- 会 場 J:COM ホルトホール大分 201・202 会議室
(対面方式)
- テーマ ～産後ケアの現状・問題点と課題～
- 講 師 山本助産院院長 山本詩子 氏
- プロフィール



1956 年生まれ 68 歳。助産師歴 45 年、大学病院勤務を経て、平成 6 年開業し
2300 人余の誕生を迎えた。

助産所の小規模多機能化を実践し、産後母子ケア事業等、横浜市事業「親と子のつどい
の広場」開設で、地域の母子支援活動の一端を担い、また助産師学生・看護学生の実習を受け入れ、年間延べ 600 人余
を受け入れ、教育の場としての役割も担ってきた。

10 年前より、医療的ケア児及び妊産婦対象の訪問看護ステーションを開設し在宅医療にも携わっている。

海外からの研修・見学の受け入れは、15 カ国に及び、昨年度より厚生労働省モンゴル国の医療水準向上のための
プロジェクト委員を務める。

現) 天使大学大学院助産研究科教授 北里大学非常勤講師 神奈川県立医療福祉大学非常勤講師

聖路加国際大学大学院非常勤講師 帝京大学非常勤講師 横浜市助産師会監事 他

元) 公益社団法人日本助産師会会長歴任 公益社団法人神奈川県助産師会会長歴任

- 参加費 無 料
- 申し込み方法 QRコードから申込みフォーム（GoogleForms）へ進み、必要事項を記入の上送信してください。
- 参加締切り 令和6年10月15日（火）
- 定 員 100名程度



以上

問合せ先（事務局）

一般社団法人 大分県助産師会

電話番号：080-6426-8153

e-mail: sangocare@oita-midwife.com

担 当：猪 俣

（対応時間：日曜日～全曜日 9時～18時）